

土浦市自転車のまちづくり構想（案）のパブリック・コメント実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和4年12月15日（木）～令和5年1月16日（月）
募集方法	<ul style="list-style-type: none">・土浦市自転車のまちづくり構想（案）を市の公式ホームページに掲載したほか、本庁舎（政策企画課及び情報公開室）、都和支所、南支所、上大津支所、新治支所、神立出張所、一中地区公民館、二中地区公民館、三中地区公民館、四中地区公民館、上大津公民館、六中地区公民館、都和公民館及び新治地区公民館に設置し、郵送、ファックス、電子メール、持参又は専用フォームからの送信のいずれかにより募集を行いました。・パブリック・コメントの意見募集については、市の公式ホームページのほか、広報つちうら、市公式 Twitter 及びメールマガジンに加えて、市公式 LINE を活用して周知を図りました。
意見提出者数	4人
意見件数	10件
市ホームページ閲覧数	120件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

No	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針
1	<p>【P42】本市のサイクルツーリズムの現状について</p> <p>1) 使用している自転車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の自転車を使用している人が多いというアンケート結果が示されているが、自転車をどの様に運んでいるかの分析がなされていない。輪行袋に収めて鉄道を利用しているのか、自家用車に積載しているのかによって、支援内容の施策が変わるものと思われる。 ・鉄道利用者に対しては駅周辺での着替え・シャワー・食事の提供が望ましく、利用者が見込めるのであれば、水郡線のようにサイクリートレインを走らせることも視野に入れる必要がある。 ・自家用車利用者に対しては休憩所の駐車場の整備、休憩所周辺での着替え・シャワー・食事の提供が望ましい。また、休憩所付近での売店等の充足が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、鉄道利用者と自家用車利用者それぞれに合わせた対策が必要と考えています。 ・鉄道利用者の利便性向上については、現在、土浦駅東口にサイクルステーションを設置しているほか、土浦駅ビルにおいて民間事業者による施設が営業されています。 ・サイクリートレインの運行については、現在は、観光シーズンに合わせて運行されている状況ですが、今後も鉄道事業者と連携を図りながら、効果的な取組を検討することとし、P70「4-1-⑨ 「自転車のまち」としての魅力度向上」に下記のとおり追記します。 ・自家用車利用者の利便性向上については、駐車場・シャワー等を備えて整備した「りんりんポート土浦」を多くの方にご利用いただいているところですが、今後も、P69「4-1-⑤ サイクリング環境の充実」により、サイクリング拠点施設の充実を図ります。

【修正の内容】 P70「4-1-⑨ 「自転車のまち」としての魅力度向上」

修正前	修正後
【右記を追加】	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道を利用して本市を訪れるサイクリストの利便性向上を図るため、鉄道事業者によるサイクリートレインの運行と連携した効果的な取組を検討します。

No	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針
2	<p>【P21】市民の自転車利用状況</p> <p>3) 自転車の利用目的</p> <p>【P61】目標3 施策1 自転車利用の普及促進【生活面の利用】</p> <p>・自転車の利用目的は60代以上においては、「買い物・飲食」が50%を超えている。高齢化と高齢者の運転免許返納に伴い、移動手段を無くした高齢者が自転車を利用する機会が増えるものと思われ、高齢化に伴う課題の抽出、施策の検討を開始すべきと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動手段に関する課題については、様々な交通手段を含めた総合的な視点から、安全面を考慮して検討していきます。
3	<p>【P59】目標1 施策2 自転車の安全利用の促進</p> <p>【P64】措置名称1-2-② ヘルメット着用の促進</p> <p>・ヘルメットの着用を促進するために、ヘルメットの購入補助の施策を検討してはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットの着用促進については、前回アンケート調査時（令和元年）よりも着用率が向上していることから、引き続き、ホームページ・広報紙等による啓発や、学校における生徒・児童への指導を推進します。
4	<p>【P65】目標2 施策1 自転車通行空間の整備推進</p> <p>・行楽シーズンになると国道6号土浦バイパスの高架区間にサイクリング車が混入してくるため、危険が生じている。6号バイパスは自動車専用道路ではないので適法ではあるが、事故防止の観点から、サイクリング車を旧国道6号線へ誘導することを検討してはどうか。</p> <p>・旧道も保健センター付近の急坂、一高付近の急坂が有り、安全対策が必要ですが、バイパス経由で「通過される街」ではなく旧道経由で「楽しみを見つける街」にしてもらうのはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章 自転車交通ネットワーク計画（P73～）において、通行の安全性や観光周遊の観点から「生活系ネットワーク路線」と「観光系ネットワーク路線」を定め、矢羽根型路面表示等による自転車の誘導を図っています。（国道6号土浦バイパスについては、ネットワーク計画への位置づけはしていません。） ・引き続き、ネットワーク計画に位置付けた路線への路面表示等の整備を進め、安全性と観光周遊性のある路線へ、自転車の誘導を図ります。

No	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針
5	<p>【P70】目標4 施策1</p> <p>4-1-⑥ インバウンドを考慮した受入サービスの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪サイクリストへのルール周知のため、県や近隣市町村と連携して、自転車の走行ルールを表示するインバウンドサイクリスト向けの看板等の設置が望ましい。 ・ 事故等が発生した時の現在位置通報の便宜を図るために、県と連携して一連の交差点番号を付与して警察・消防と共有することを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンドを考慮した案内標識やパンフレット等における外国語表記については、順次、導入を進めているところですが、ルールの周知も含めて更なる充実を図っていきます。 ・ 現在位置通報の手段については、デジタル技術の活用なども含め、効果的な手法を検討します。
6	<p>【P70】目標4 施策1</p> <p>措置名称 4-1-⑧ 公共交通機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好ましい施策と考えます。ぜひ実現して頂きたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、公共交通機関との連携による利便性の向上について検討します。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無灯火の通勤通学自転車や逆走（右側通行）する自転車が大量にいます。 ・ 郊外や国道県道の幹線道路では、路肩の狭い道路の場合は自転車では危険を感じます。自動車中心社会なので、自転車は自身の身を守るためになるべく車のいないルート、時間帯を選ぶことしかできません。 ・ 横断歩道でも全く一旦停止しない車が圧倒的多数であり、まずは道路交通法を遵守させる啓蒙活動が最優先なのではないかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P63「1-1-① 交通安全教室の開催」、「1-1-② 自転車交通ルールの広報啓発」、「1-1-③ 自動車運転者への広報啓発」により、引き続き、自転車交通ルールの周知や、自動車運転者への自転車に配慮した運転の啓発に努め、自転車を安全に利用できる環境づくりに努めます。

No	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針
8	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース周辺の空き缶、ボトル、吸い殻等のポイ捨てが残念で、市民の方にはゴミを捨てないようにしてほしい。 ・りんりんロードをホームグラウンドにしている方々に声をかけてゴミ拾いの定期イベントを開催するとか、地元のボランティアをお願いしたりしてはどうか。 ・自転車のルールを知らない人が多いようで右側を走っていたり、スマホを操作しながら走っている人がいます。マナーやルールを守ってほしい。 ・訪れるライダーの方に霞ヶ浦一周コース、高浜コース、岩瀬コース完走した証の完印を希望者に差し上げるなどして世界のライダーの方々に来て良かったと思われるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市へサイクリングに訪れた方々を迎え入れる体制づくりとして、P70「4-1-⑨ 「自転車のまち」としての魅力度向上」に記載された「市民に愛着を持ってもらえるような取組」により、市民意識の更なる醸成を図っていきます。 ・P63「1-1-① 交通安全教室の開催」、「1-1-② 自転車交通ルールの広報啓発」により、引き続き、自転車交通ルールの周知に努め、自転車を安全に利用できる環境づくりを進めます。 ・ご意見いただいたアイデアも参考にさせていただきながら、「自転車のまち」としての魅力度向上に努めます。
9	<p>生活面から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の通る路側帯の路面がなめらかであることを望んでいます。以前、滋賀県琵琶湖で開催された世界湖沼会議に参加したときに、自転車で宿から会場に通いました。路面のなめらかなことに感心し、土浦に戻って落差を感じました。 ・安全確保のためには、歩行者、自転車、車が分離された通行も大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間の快適性向上については、引き続き、県や周辺市町村とも連携して取組んでいきます。 ・安全性の確保については、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の筑波山ルート及び霞ヶ浦ルートの一部において、自動車と自転車・歩行者の通行が分離されていますが、一般的な車道混在（自動車と自転車が車道内で混在）の路線においては、自転車交通ネットワーク計画に基づき、矢羽根型路面標示等で自転車の通行位置を明示し、自動車に自転車が車道内で混在することを注意喚起することで、安全性の向上を図っていきます。

No	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針
10	<p>観光・地域活性化の面から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくば・霞ヶ浦りんりんロード」には期待しています。駅前からの分かりやすいルート表示を望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P69「4-1-⑤ サイクリング環境の充実」により、分かりやすい案内誘導サイン等の設置を推進します。